

発泡スチロール球で分子模型を作ろう

2014. 10. 1 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

8月7日と8日に小樽市総合博物館で科学の祭典小樽大会が行われ、ボクは「発泡スチロール球で分子模型を作ろう」というテーマで分子模型作りのブースを出しました。

○1日目は初めての人がたくさん来ました
科学の祭典・小樽大会には2011年から参加して、もう4年目になります。

今年と一緒に活動する人がいなかったの
で、1日目は高校生が手伝いに来てくれました。彼にはまず分子模型をいっぱい作ってもらって、好きになってもらおうと考え、ボクが余裕のあるうちにどんどん作ってみたいと思ってくれた分子模型を作ってもらいました。

今年初めての試みを2つ行いました。
1つ目は、ホワイトボードに資料をただ並べて貼るのではなく、初めての人でも原子・分子を理解してから分子模型を作ってもらえるように、空気中の分子のイメージ図や、水の蒸発のイメージ図を貼ったことです。

2つ目は、《もしも原子が見えたなら》の絵本を使って、初めて原子・分子に出会う人に説明しながら、空気の分子模型を作ったことです。仮説実験授業の授業書《もしも原子が見えたなら》の源ですから、授業を体験してもらおうつもりで説明しながら空気の分子模型を作りました。結構疲れましたが、成果はあったと思います。

1日目は初めての人が多く、とてもたくさんの発泡スチロール球を使いました。このペースで作ったら、2日目に用意していた発泡スチロール球が足りなくなってしまうような勢いでした。





○2日目は1日目のリピータが来ました

このままでは発泡スチロール球が足りなくなると心配していましたが、2日目は初めての人よりも、1日目に来て、分子模型作りが好きになった人が来てくれて、空気の分子よりちょっと大きめの分子模型を作ってくれました。大きな分子の方が時間がかかるし、発泡スチロール球もあまり減らないので、なんとか2日目に発泡スチロール球が足りなくなる事態は避けることができました。

水、空気、エチルアルコール以外に作った分子模型はCo-PCB、砂糖、サリン、PE、PP、PCDD、PCDF、PVCです。1つ作るのに1時間以上かけて、大きな分子模型を作ってくれました。

次回は1月17日（土）に行われます。冬は1日だけですが、是非、分子模型ブースにいらしてください。

